

法人・親族内承継（親→子）

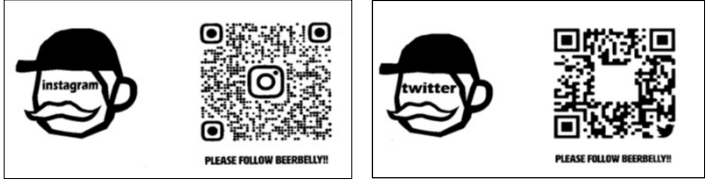
か) ヤング

株式会社ヤング（皮革製品製造業）

事業者紹介



会社名：株式会社ヤング
 代表者名：代表取締役 若井 啓考
 創業年：1970年（昭和45年）9月
 従業員数：11名
 所在地：〒120-0022東京都足立区柳原一丁目5番3号
 e-MAIL：info@beerbelly.young1970.jp
 U R L：https://beerbelly.young1970.jp/



事業者様の事業紹介

株式会社ヤングは、1970年の創業以来、「完全日本製」にこだわり続ける皮革製品の製造メーカーです。長年培ってきた熟練の職人技を武器に、有名ブランドのOEM（受託製造）を手掛ける一方、自社ブランド『BEERBELLY（ビアベリー）』を展開。「職人の技術に遊び心」というコンセプトのもと、ユニークなギミックを施した財布やバッグは、全国の革小物ファンから熱い支持を得ています。伝統を守るだけでなく、今の時代に響く創造的な発信を続ける同社が、なぜ今「事業承継」のステップを踏み出したのか。その背景と想いをご紹介します。



自社オリジナルブランドの商品を紹介する若井社長と担当の杉山マッチングクリエイター

事業承継に関して

Q1: 事業承継のきっかけを教えてください。

A1: 創業者である先代（父）は、長年OEMを中心とした事業で会社の基盤を築いてきましたが、近年は自社オリジナルブランド「BEERBELLY（ビール腹）」の展開が広がり、事業の軸や営業方法も変化してきています。
 こうした流れの中で、次の成長を見据えて経営体制を整理するタイミングと考え、事業承継を進めました。

Q2: ご自身や先代の年齢の変化も承継のきっかけの一つになりましたか？

A2: そうですね。これまでの動き回っての営業から、パソコンを使っての営業に時代が変化してきたので、その点でもITに明るい部分が必要だったかなと思います。

Q3: 事業承継を決断するまで、また事業承継を進める中で、どのような悩みや課題がありましたか？

A3: 20年程前から事業の前面に立つ形で経営に関わっていたため、承継自体で大きな混乱はありませんでした。
 一方で、長年会社を率いてきた先代の思いもあるため、事業承継を切り出すまでは気を遣いました。どのような形で世代交代を進めるかには配慮が必要でした。
 代表は退いていただきましたが、若い世代に技術を教えてもらったり、やっていただく仕事がたくさんあるので、今も会長として働いていただいています。
 代表を退いた後も一緒に働いてくれることで、聞きたいとき時に聞けるのは心強いですね。

Q4: 事業承継を契機に、新たな取り組みを計画されている、または既に取り組んでいる新規事業があれば教えてください。

A4: 自社オリジナルブランドの認知を広げる取り組みに力を入れていきたいと考えています。
 今回作成したパンフレットもその一環で、ブランドやものづくりの背景を知っていただくきっかけになればと思っています。
 今後も情報発信を強化し、より多くの方に知っていただけるよう取り組んでいきたいです。



自社オリジナルブランド『BEERBELLY（ビール腹）』の商品がずらりと並んだ店内

事業承継促進支援助成金活用について

Q1: 足立区事業承継促進支援助成金をどのようにお知りになりましたか？

A1: 経営に関する悩みなどを気軽に相談できる訪問型経営相談員である杉山マッチングクリエイター（MC）からの紹介で知りました。

Q2: 活用方法を教えてください。

A2: 販路拡大のための広告経費助成を利用して、自社オリジナルブランド商品のパンフレットを作成しました。
 作成経費の1/2が助成されたため、プロのカメラマンに撮影を手伝ってもらったり、紙質やサイズにもこだわったものが作成できました。
 千住エリアを盛り上げたい想いから、同じ千住エリアにある東京巧版社さんに印刷をお願いしました。お客様からも好評です。

Q3: 足立区事業承継促進支援助成金の申請手続きの難易度や担当MCからのアドバイス等について、ご意見があればお聞かせください。

A3: 申請手続きについては、特に難しいと感じる点はありませんでした。
 担当のマッチングクリエイターにご案内いただきながら進めることができたので、比較的スムーズに申請を進めることができました。
 また事業承継の計画書作りの中で、中長期的な課題が発見できました。
 担当のマッチングクリエイターは今の事業内容を理解した上で、補助金の活用や実行的なアドバイスをいただけるので有難いです。



自社オリジナルブランドの商品（DOUBLE FLAPS SMALL）と、助成金を活用して作成したカタログ

これから事業承継を検討されている事業者様向けに、アドバイス等ありましたらお聞かせください。

事業承継は、現経営者と引き継ぐ側、双方が一緒に動けるうちに考えておくことが大切だと思います。

経営や事業を引き継ぐには、想像以上に気遣い、体力、時間が必要だと感じました。無理のないタイミングで計画的に進めていくことが重要だと思います。